

宮若市社会福祉協議会 業務執行報告

(令和2年10月1日～令和2年12月31日)

社会福祉法人 宮若市社会福祉協議会
会長 村上 文男

1. 総括

令和3年1月8日には、1都3県を対象とした緊急事態宣言が発出された。1月14日には福岡県を含めた2府5県を対象に緊急事態宣言が拡大され、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めているが1月8日には全国で最多の7882人の感染が報告された。

事業運営については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら実施してきたが、未だに終息が見えない状況が続いており今年度については、中止せざるを得ない事業も出てきている状況である。また、緊急事態宣言発出中は、感染による重症化リスクが懸念される高齢者を対象とした事業「高齢者居場所づくり事業」については中止にした。

本会職員についても、不要不急の外出を控えるようお願いしており、感染予防対策と共に感染拡大防止対策に心がけ事業の運営を行っていく事としている。

2. 法人運営

(1) 理事会・評議員会の開催

日時	内容
10月30日	第77回 理事会 ・会長職務の執行状況の報告について

(2) 監査の実施

日時	内容
10月22日	令和2年度 第2期監事監査

(3) 役職員研修会の開催

内容及び開催時期については未定。

(4) 総会・主な会議等への参加

日 時	内 容	出席者
10月2日	民生委員・児童委員推薦委員会	会長
10月7日	宮若市自治会長会 役員会	局長
10月5日	ふれあい訪問員連絡会 宮田地区（1～4ブロック）	石井
10月9日	ふれあい訪問員連絡会 上大隈地区（5ブロック）	竜口
10月26日	支援調整会議	石井
11月10日	ふれあい訪問員連絡会 若宮地区	井上
11月20日	地域資源マップ会議	石井
12月7日	ふれあい訪問員連絡会 宮田地区（1～4ブロック）	石井
12月11日	ふれあい訪問員連絡会 上大隈地区	竜口
12月21日	地域資源マップ会議（5ブロック）	石井
12月22日	ふれあい訪問員連絡会 笠松地区（6～7ブロック）	井上
12月23日	地域ケア会議	石井
12月23日	宮若市地域公共交通会議	会長

(5) 研修会等への参加

日 時	内 容	出席者
10月5日	放課後児童支援員認定資格研修（10/5-11/13-11/16）	指導員2名
10月6日	学童保育所指導員研修	学童指導員
10月10日	放課後児童支援員等資質向上研修	指導員4名
10月15日	社協職員研修会（鞍手町社協）	石井・井上 竜口
10月19日	放課後児童支援員等資質向上研修	指導員4名
10月26日	日常自立生活支援員研修	石井・榎蘭
11月4日	災害VOセンター研修	石井・井上 竜口
11月6日 ～7日	社会福祉士実習指導者講習	西中・石井
11月13日	日常生活自立支援事業専門員研修	石井・井上
12月10日	社協職員研修会（鞍手町社協）	石井・井上 竜口

(6) 寄附金事業

項目	内 容
香典返し寄附金	14件 297,200円（前年同期 18件 400,000円）
一般寄附金	0件 0円（前年同期 4件 60,000円）

(7) その他

評議員選任・解任委員会等の開催は無し。

3. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉座談会の開催

期間内での事業実施は無かった。

(2) 福祉委員の設置推進

66 自治会より 349 名の福祉委員を推薦いただき社協会長より委嘱した。

(3) 福祉会の設置推進

前回の報告から変化なく、18 自治会より助成金申請書が提出されている。

(4) いきいきサロン活動の推進

今年度に限り年 6 回の開催に満たなかった自治会も助成の対象とした。助成金額を早めに算出したかった為、12 月にサロン実施予定であった自治会へ助成金請求書の提出を依頼した。

(5) 地域福祉研修会の開催（中止）

今年度については中止とした。

(6) 地域歳末・年始事業の推進

10 月に全自治会を対象として、本事業の実施の有無についての調査を実施した。実施予定が 13 自治会・検討中が 16 自治会・例年実施で無回答が 5 自治会であった。その為、11 月末に 34 自治会へ助成金交付申請書を送付している。

4. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営（ボランティアコーディネートの充実）

引きこもりの子を持つ保護者より相談があり、子どもでも参加できるボランティア活動の紹介を依頼された。施設や病院等では外部からのボランティアの受け入れが難しい状況が続いている。また、大人数の場には出ていけないだろうとの事であった為、本年より発足した小物づくりボランティア「えくぼの会」を紹介しており、引きこもりから一歩を踏み出してくれることを願っている。また、子ども食堂に配達ボランティアとしてトヨタ自動車九州の「ゆいまーるさーくる」を紹介し協力いただけることとなった。

(2) ボランティア講座の開催

ボランティア連絡協議会及び宮若市ボランティアセンターへ登録いただいている現在活動をされてある方を対象とした講座の開催を検討している。

(3) 災害ボランティア養成講座の開催

3月7日(日)に、災害ボランティアセンターの研修及び設置運営訓練を実施予定。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一般市民への参加は呼びかけず関係団体や企業等に参加人数を指定して実施する。

(4) 災害ボランティア派遣への学校との連携(中止)

鞍手竜徳高校の生徒さんに協力いただく事を計画していたが、通常の学校運営もできていない状況である為、今年度中での事業実施は中止とした。

(5) 小物製作ボランティアの養成(終了)

毎月第2・第4火曜日に定例会を実施している。

(6) ボランティアスクールの開催(中止)

今年度については中止とした。

(7) ボランティア団体の活動支援

日時	内容	出席者
10月6日	宮若市VO連 事務局会	井上
10月20日	宮若市VO連 役員研修会 「災害ボランティアセンターにおける 支援活動について」	井上・竜口
10月30日	サロンすこやかグループ 役員会	井上
11月10日	宮若市VO連 事務局会・理事会	井上
11月17日	宮若市VO連 ボランティア交流会 (61名参加)	井上
11月26日	サロンすこやかグループ役員会	井上・田之上
12月8日	宮若市VO連 事務局会・理事会	井上

(8) 地域ふれあい防災運動会の支援(中止)

今年度については中止とした。

(9) ボランティア活動の啓発

社協広報誌等を活用してボランティア活動の紹介や募集を実施している。

(10) ボランティア活動保険への加入推進

安心してボランティア活動が実施できるよう、ボランティア活動保険への加入を推進している。【12月末時点加入者数：1,026名】

5. 相談機能の充実

(1) 弁護士無料法律相談の実施

毎月第2火曜日に弁護士による無料法律相談を実施している。【10月：3件、11月：5件、12月：1件】

(2) フードバンクの運営

新型コロナウイルスの影響により生活が困難になった等、相談に来られた方の生活状況に応じ食材等の提供を行っている。また、フードバンク福岡及びトヨタ自動車九州㈱から定期的に食材の提供を受けている。【食材提供数 12月末現在 49件】

(3) 関係機関との連携

生活福祉資金の貸付では困りごと相談室と連携し対応に当たっている。日常生活自立支援事業については、福岡県社協や市役所、直轄地区障がい者基幹相談支援センターや福祉施設等々と連携し事業運営を図っている。

6. 高齢者の支援

(1) 寝具洗濯乾燥サービス（終了）

9月末にて完了。【申込者数 145名・252枚】

(2) ふれあい電話の実施

6名のボランティアの協力により一人暮らし及び昼間独居の75歳以上の自宅に電話による訪問を行っている。【12月末時点利用者数：13名】

(3) 在宅介護者の支援

12月3日にバスハイクを計画したが、周知不足と新型コロナウイルスの影響もあり参加希望者が少なかったため延期とした。

しかし、コロナウイルス感染拡大予防の観点から行き先を市外から市内会場へと変更し「若年性認知症コーディネーター」中村益子氏のお話を聞き食事等でリフレッシュしていただく事を目的とした事業を3月5日に計画している。

7. 障がいを抱える方への支援

(1) 障がい者サロンの開催

毎月第2木曜日に実施しているが、8月より新型コロナウイルス感染拡大防止の為に再度中止としていたが10月より再開。11月9日に手話サロンと合同で宗像大社の菊花展、道の駅むなかたへ密を避けた少人数でのバスハイクを実施した。

(2) 手話サロンの開催

毎月第2・第4火曜日に社会福祉センター2階会議室にて実施している。

(3) 引きこもりの方への支援

12月15日、社会福祉法人 グリーンコープが受託している、福岡県ひきこもり地域支援センター筑豊サテライトオフィス（田川市）を視察。センターでは来所により相談を受け付けている。筑豊地区全域を対象としており広域である為、相談場所が遠い等の問題もあるとの事。宮若市においては、グリーンコープが受託運営している困りごと相談室があり、相談業務の中で引きこもりに関する相談は筑豊サテライトへつなぐ体制が整えられている。本会に引きこもり等の相談があった場合には、困りごと相談室へつなぎ連携していくことを確認した。

(4) 障がい者団体・作業所の活動支援

10月から12月は開催なし。

8. 子育ての支援

(1) 子育てイベントの開催

日 時	内 容
10月22日	子育て連絡会きらりんメンバーの座談会が開催された
10月24日	「えいごであそぼうハロウィン」参加者17名
12月7日	「消しゴムハンコを作ろう」参加者6名

(2) 子育て用品リユース事業

リユースセンターの整理については、子育て連絡会きらりんが第2・4火曜日に定期的実施する。【12月末現在138名が利用（持込74名 持帰101名）】

(3) お母さんリラックスタイムの実施（中止）

今年度については中止とした。

(4) 子育て団体の支援

日 時	内 容
10月13日	宮若市子育て連絡会 定例会
10月27日	宮若市子育て連絡会 定例会
11月10日	宮若市子育て連絡会 定例会
11月24日	宮若市子育て連絡会 定例会
12月8日	宮若市子育て連絡会 定例会
12月22日	宮若市子育て連絡会 定例会

9. 福祉教育の推進

(1) 福祉入門教室・福祉の仕事出前講座（終了）

福祉人材バンクからの助成金等を財源としてライジングゼファー福岡の車いすバスケット選手を招待し、11月18日（AM）宮田小学校、（PM）宮田南小学校、11月19日（AM）宮田北小学校にて、福祉体験教室を開催した。

事業終了後に各学校へヒアリングを行った結果、とても好評であり、今後も継続して欲しいと強く要望があった。今回は市内5小学校中3校での実施であったが、今後は全小学校で開催できるよう検討していく。

(2) 福祉教育の支援

10月14日に宮田南小学校、11月4日に宮田小学校、11月5日に宮田北小学校、12月9日に宮若西小学校にて車いす体験授業を実施した。

(3) 福祉体験教室（中止）

今年度については中止とした。

(4) 未来応援プロジェクト（中止）

今年度については中止とした。

(5) 社会福祉協力校の指定（終了）

小学校・中学校・高等学校に助成金を支出済み。

(6) 福祉教育教材「ともに生きる」の配布（終了）

宮若市教育委員会へ232部寄贈済み。

(7) 福祉教材寄贈

新入学1年生を対象に防犯ブザーを寄贈しており、近日中に希望個数を調査し配布を予定している。

10. 貸出事業

(1) チャイルドシートの貸出

【10月：1台、11月：3台、12月：9台を貸出】

(2) 福祉車両の貸出

【10月：2台、11月：6台、12月：7台を貸出】

(3) 車いすの貸出

【10月：2台、11月：6台、12月：3台を貸出】

(4) レクリエーション遊具の貸出

【10月：1回、11月：1回】

11. 広報啓発活動

(1) 広報誌の発行

11月号を発行した。

(2) ホームページ・フェイスブックの更新

11月30日にInstagram及びラインアカウントを作成した。フェイスブック及びInstagramについては、毎日更新が出来るよう心掛けている。

12. 指定管理者制度による福祉センターの運営

(1) 社会福祉センターの運営

前回と同様に新型コロナウイルス感染予防対策はこまめに継続している。12月から入館者に体温測定を行い、検温の結果37.5℃以上の発熱がある場合には入館をお断りする。入館者減少に伴い、エコねっとシステムを利用し電気の見える化を図り、業務に支障がない範囲で節電を行っている。また、新たに小学生以下を対象とした利用者にはスタンプカードを配布し5個スタンプを集めるとプレゼントを渡すなどを実施しており、コロナ禍においても入館者増加に努めた。

【12月末入館者数 30,856人】

項目	内容
点検等	10月 センター機械・配管等維持管理点検 浄化槽保守点検 電気設備保守点検 電位治療器（スカイウェル）点検 11月 センター機械・配管等維持管理点検 浄化槽保守点検 自動ドア保守点検 浄化槽放流水水質検査（第9条） 消防用設備等（特殊消防用等）点検 12月 センター機械・配管等維持管理点検 浄化槽保守点検 ボイラー（温水器）定期点検
工事等	10月 福祉センター正面玄関駐車場改修工事 福祉センター正面玄関横身体障害者駐車場看板取付

(2) ふくしバスの運行

毎週月・水・金ふくしバスの運行を行った。現在も乗車前の検温や手指消毒、車内消毒をこまめに実施している。

12月よりバス乗車前に体温測定を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は、乗車をお断りすることにした。

13. 受託事業

(1) 放課後児童健全育成事業

新型コロナウイルス感染症対策に係わる事業への補助金4,851,000円を活用し、カメラ式検温装置（測定結果記憶型）や消毒液等々を購入した。

(2) 高齢者居場所づくり事業

10月22日、高齢者居場所づくり事業に協力いただいているボランティアの方を対象に、現状とこれからの事業運営方法についての説明会を実施し65名の方に参加頂いた。11月より午前中のみでの半日ではあるがお弁当付きにて事業を再開した。中止期間が長かったため利用者の方は大変喜ばれ、11月は過去最高の399名が利用された。

利用人数が多くなることにより感染リスクが高まるため、定期的な換気と消毒の徹底に努め、安心して利用できる高齢者居場所づくり事業を運営した。

しかし、福岡県を対象とした2度目の緊急事態宣言が発出されたため、1月15日の事業を最後に緊急事態宣言中は事業を中止することとしている。

(3) 食の自立支援事業

本会の広報誌「ほっと11月号」に食の自立支援事業について特集として掲載した。配食委託業者には、食事をお渡しすることも大切であるが、安否確認が一番大切という事を従業員へ再度徹底して頂くよう依頼した。

【12月末 1,585件 27,606食】

(4) 宮若市戦没者遺族会

10月予定 宮若市戦没者追悼式 中止

11月予定 福岡県遺族大会 中止

(5) 日常生活自立支援事業

延べ51回の支援を実施。新規契約が1件、解約が1件あった。

11月25日、生活支援員養成研修を実施し、25名（市外者含む）が受講された。内9名が生活支援員として活動していただける事となったので、利用者の情報等をお伝えし2月より本会職員と共に支援に同行してもらう事としている。

(6) 生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症による特例貸付については、原則1年後からの返済となっていたが、令和3年1月8日、厚生労働省より返済開始時期を令和4年4月以降に延長されることが通知された。

(12月末現在)

種 別	10月	11月	12月	合計
緊急小口資金（通常）	1	2	1	4
緊急小口資金（特例）	11	9	9	29
総合支援資金（特例）	12	9	9	30
総合支援資金（延長）	35	22	23	80
福祉資金	1	1	0	2
教育支援資金	2	2	1	5

(7) 共同募金宮若市支会事務局

10月1日～12月31日まで赤い羽根共同募金運動を実施した。コロナ影響で募金額減少が心配されていたが、目標額の98.3%を達成（実績報告別紙添付）。新型コロナウイルス感染症対策として、共同募金に協力いただいた事業所に手作りマスクカバー・除菌シート・ティッシュをお礼としてお渡しした。

(8) 老人クラブ連合会

日 時	内 容
10月13日	女性部幹事会
10月19日	理事会（4名参加）
11月6日	高齢者リーダー研修会及び会員増強運動表彰（13名参加）
11月12日	女性リーダー研修会
12月8日	理事会

14. その他

(1) 災害協定の締結

1月25日に直鞍エリア社会福祉協議会連絡協議会の4社協と直方青年会議所との災害協定が締結される予定である。